

藻谷さんの講演会に行ってきました (2015.10.15 UP)

ささえあいコミュニティ生活協同組合新潟 専務理事 武田貞彦

昨日(10/12)、藻谷講演に行ってきました。人口の推移比較で、新潟市、東京都、中国を取り上げ、新潟の目指すべき方向性を提案しました。全国的にも高齢化と少子化は大きな社会問題ですが、東京都は全国1の困難(暮しにくい)で、それに比較すると新潟市は、賃金は安いですが、家賃、食費(親戚・ご近所からもらっている)が大変安く、保育所待機児童もなく、暮らしやすいという特徴を明らかにしました。今後は、高齢者の割合は一定してくるので、子供の割合を増やしていく施策や文化が必要であること。沖縄や九州各県が奮闘していることに触れ、東北は、大勢産んだら生活できないと考えがちだが、それら県では、「子供は宝」「みんなで助ける」といった文化があり、「あまり考えないで産んでいる」と、ユーモアを交え、話されました。新潟市は大きいので区や自治区を単位に、子育てしやすい地域を目指せと。また、大学は欧州のように無料化が必要とも。

先般のニュースで生活に困った男性が新幹線で殺人、自殺した問題に触れ、男性は12万円の年金をもらっていた。家賃や食費が高く、生活が苦しかった。故郷の岩手に帰れなかったのは、野良仕事なんてできない、都会の人間でいたいという意識はなかったか?と問いかけ、新潟に住んでいたなら、事件を起こさずに済んだのではと結んだ。(藻谷さんは新潟市の政策アドバイザーの4人の内の1人です)

家に帰り、NHK「ふるさとの希望を旅する ~島根県海士町」を観る。なるほどと思ったのは「地域を育てる人間を育てる」という思想。地元の高校で、地域に愛着を持ってもらい、地域問題の課題を考える実践であった。廃校寸前の高校が倍率2倍となった。ネットでみたら、NHKは「地域づくりアーカイブス」を立ち上げ、地域づくりの先進事例を見れるようになっていました。「里山資本主義」とあわせ必見です。

※ささえあい生協の地域懇談会を活性化させ、コミュニティ協議会などにも積極的に参加していく必要性を感じました。